



吉田地区

3号

# 住民自治協議会だより

キャッチフレーズ:「人の和と 地域の輪もて わが吉田」

・発行責任者 風間 政美 ・編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会

## 住民自治協議会本格的発足 初年度にあたり

吉田地区住民自治協議会 会長 風間 政美



事業を合わせて、各五部会に配分されたこれら事業に要する平成二十二年度の収支予算の概要は、次の表のとおりです。

- ◇環境美化部会(委員会なし)
  - ◇福祉・保健部会(福祉委員会、保健委員会)
  - ◇教育・公民館部会(人権・同和教育委員会、育成会委員会、青少年委員会、公民館委員会)
- 以上の部会、委員会に再編成して、各部会や委員会が中心に活動が開始され、必須、選択事務、町単独事業等を難なく進められていく部署もあります。が、新任者のみで手探り状態のところもあるかと思えます。しかし、発足初年度でもあり各役員さんには、大変ご足労をお掛けしているかと思えます

平成22年度 吉田地区住民自治協議会予算	
◇収入財源の主なもの (単位:円)	
市運営交付金	10,640,000
市・社協・日赤補助他	2,516,000
各区負担金	5,055,000
区長会から繰入他	2,985,956
その他	297,044
計	21,494,000
◇支出(主として部会別) (単位:円)	
総務部会	1,758,000
安全・安心部会	1,943,000
環境美化部会	721,000
福祉・保健部会	2,453,000
教育・公民館部会	4,446,000
事務局費(各部会共通経費含む)	3,379,000
各区への配分金	4,801,000
各種存続団体補助	1,238,000
予備費	755,000
計	21,494,000

平成二十二年五月十三日に吉田公民館多目的ホールで、開催された吉田地区住民自治協議会評議員会において、いよいよ本格的に動きだした吉田地区住民自治協議会の会長、副会長、部長、会計、監事等の役員改選が行われ、大先輩の齊藤会長様の後任として、会長に選任されましたが、もとよりその器ではありませんが、役員さんをはじめ吉田町の皆様のご支援、ご協力を賜り、その任に当たってまいりたいと思えます。何分よろしくお願い申し上げます。

一部補正予算で、修正し増減する事業予算も出てきます。

吉田地区住民自治協議会は、去る五月十三日に開催した評議員会において決定されて、当面は、次の五部会八委員会が発足しました。

- ◇総務部会(区長のみ)
- ◇安全・安心部会(防犯・防災委員会、交通安全委員会)

国の地方分権の流れの中で、長野市では、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という都市内分権の導入により、区長会他九団体が、平成二十二年三月三十一日をもって、市の連合組織は解散又は廃止されました。それらの団体事務は、必須二十二・選択三十八事務に分類され、また、吉田町独自の

長野市内の住民自治協議会は三十二地区ともすべて発足初年度でありますので、何分ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 安全・安心部会

「安全・安心の街に」

日常の生活を守る大切な部「安全・安心部会」は大きく分類すると、交通・防災・防犯になると思います。

各委員会は今迄通りの事業を実施する中、他の委員会と連携を取りながら、高齢者の交通事故、火災の発生、振り込め詐欺、自転車盗、空き巣万引き防止啓発活動、特に八月・十二月はパトロールを強化して、多くの交通事故抑止に努力しています。

吉田地区は地理的条件が悪い中「大いちょうパトロール隊」の毎日の活動は子供たちの安全に加え、犯罪件数の減少にも効果を上げています。

人と人とのコミュニケーションを大切に、安全・安心の街を築き上げたいと思います。

皆様方の一層のご理解と御協力をお願い致します。

## 「町名人のジャンパー配備」

各町へ六着配備致しました。雨風の日など大いちょうパトロール隊員の皆さんの安全の為に従来のタス

キと合わせて活用頂けたらと思います。



吉田交番のご協力を頂いてのパトロール



## 「備えあれば」

防災委員会では、資材及び食料備蓄確保整備に加え災害時の情報伝達網の確保として、各町に一台中長距離用トランシーバーの配備を検討中です。加えて、消防、警察よりアドバースを頂き、吉田地区全体で「避難・炊き出し・情報伝達」の総合訓練も実施できればより効果的と考えております。

# 環境美化部会

各町五月の春のゴミゼロ運動、河川一斉清掃の取り組みが終了しました。これからの取り組み予定は以下のとおりです。

6月 アメシロ一斉防除  
各町協力員の指導

8月 定例会 アメシロ第一期防除報告、第二期対策

9月 定例会 アメシロ第二期発生報告、部会視察研修について

10月 秋の大掃除、ゴミゼロ運動市広報による啓発、辰巳公園の清掃、モデル事業推進事業所の視察研修の実施

「ごみ分別強調月間」各町協力員によるごみステーション立合、指導



後をたたない不法投棄



緑地の清掃と草取り

12月 定例会 ゴミゼロ運動の結果報告、視察研修の反省並びに次年度希望について

1月 一年間の反省、今後の事業推進について  
新年会

2月 平成二十三年度事業について、ごみカレンダー等の配布、交付金について

3月 平成二十二年反省及び二十三年度事業についての計画

この他にも昨年実施しました花いっぱい運動を実施し吉田地区全体が花で飾られ明るい町づくりに取り組むことしております。

# 福祉・保健部会

## 福祉委員会

福祉委員会は、旧地区社協の事業を引き継ぎました。

協力員では、はじめての方もいますが、ひとつの事業を進めるうえにおいても積極的に意見交換をしながら、企画運営にご協力をいただいています。「全員参加」を目標に委員会を進めていきたいと考えています。また、地域の皆様のアンケートをもとに「地域福祉計画」の策定委員会を設け、

地域福祉とは：

福祉を充実するには：

などを検討を重ねていますので、これからも御協力をお願い致します。



## 保健委員会

今年度は幅広い年齢層の方々の健康のために「心身共に健康な町吉田」をテーマとして、保健センター様のご指導を賜りながら年四回の健康講座（公民館共催八月十一月）と、視察研修「環境と健康を考える」を計画致しました。



視察研修事前学習講座

視察研修では事前学習講座を受講して、外的要因が人体に与える影響について理解を深めました。特に身近な生活用品の中に溢れる外因性内分泌かく乱物質について知識を深め、身近な環境問題について出席者全員が発言して意識を新たにできたことは、今後の活動への第一歩として生かしてまいりたいと考えております。

# 教育・公民館部会

人権・同和教育委員会では十一月に「人権を認め合う住民の集い」、二月に「人権・同和教育推進の集い」、各町では「人権・同和教育研修会」以上が必須研修であります。

また、地区研修会・現地研修への参加、関係教育団体等と連携を深めてまいります。

育成委員会では、たつみ祭り、ドッジボール大会、吉田ふるさと夏祭り、クリスマス会等が計画されています。

七月二十五日は「たつみ祭り」が開催されました。大勢の子ども達が抽選会、ビンゴ大会、模擬店では、かき氷など夏のお祭りを楽しんでいました。地域の方々、子ども達と一緒に楽しめたお祭りだと実感しました。

青少年委員会は六月の吉田地区三校との連絡会議、該当五地区での家庭・地域の子育て講座、一月の青少年健全育成集会（住民の集い）、各種講演会での学びを通して子ども達の明るく健やかな環境づくりを目指します。声かけ顔寄せ小さな繋がりを大切に、委員会としての可能性を



たつみ祭り 7月25日

模索し発信する「頑張り力」で吉田をますます盛り上げます。

公民館委員会については年二回発行される「館報」に掲載させていただきます。



茂呂何丸翁

# 総務部会

平成二十二年度  
総務部会(区長)名簿

平成二十二年度  
吉田地区住民自治協議会役員名簿



平成22年5月13日に  
総会が行われました



平成22年度役員

役職	町名	氏名	会長	副会長
部長	吉田田町	風間 政美	風間 政美	島田 光夫
副部長兼許	吉田横町	島田 光夫	島田 光夫	長田 威
副部長兼総務	上町	長田 威	安全・安心部会長	和原 一夫
	押鐘	丸山 勇	環境美化部会長	小林翠梨文
	桐原	仁科 眞一	福祉・保健部会長	石巻千恵美
	本町	丸山 義雄	教育・公民館部会長	竹原 一夫
	北本町	田口 忠徳	会計	岡谷文太郎
	広町	中村 志郎	監事	峯村 喜也
	小町	岡谷文太郎	事務局	和田 厚子
	吉田東町	山口 勝巳		武田 由貴
	中越	甘利 晴美		
	太田	倉澤 和彦		
	鍋屋	丸山 光政		
	原町	小林 勇		
	西堀	花岡 克行		

## 吉田紀行

第3集  
その④

作詞委員 徳永 清

◆今年(2010)の「何丸・びんずる踊り」は2400人の参加で大成功。作詞者としては感謝と喜びが一杯でした。

### ◆歴史散歩

♪「俳句のまち吉田」

④ 何丸の生誕碑ここ北小路  
せいたんび きたこうじ北本町

冬の寒さもたえまらず春へ  
「大雪に声替りせし雀かな」  
俳句は恋人花を手に

あなたと私の俳句のまち吉田



◆昭和11年(1936)に没後百年を記念して、公爵二条弼基書による「何丸翁発祥之地」の碑を建立しました。  
・通称「俳人何丸翁生誕之地」という。

### ◆自然石碑

正面 何丸翁発祥之地

公爵二条弼基書

裏面 昭和十一年十二月十日

◆京都の二条家は和歌の師範家で弼基(ひろもと)は、その子孫。

・何丸は文政7年(1824)に二条家から「俳諧大宗匠」の号を受けた。  
◆宝暦11年(1761)に生れ本名は、茂呂(もろ)一元。後に何丸と称した。俳諧の学者。  
・七部集大鏡や芭蕉(ばしょう)翁句解参考などの、芭蕉研究に大きく貢献した。  
・天保8年(1837)江戸にて没する。77歳。浅草の宗恩寺に葬られる。  
◆次回は「第4集」指定文化財小町の「吉田のイチヨウ」

### 事務局より

吉田地区住民自治協議会で発行した「吉田地区の文化財」を一冊三百円で頒布しています。ご希望の方は事務局までお越しください。



お問合せ 026-263-6224

### 編集後記

吉田地区住民自治協議会総会が、五月十三日に開催され、新役員のもと船出をしました。今後は、住民の皆様方に協議会の活動について、お知らせしてまいります。編集には不慣れではございますが、無事発行することができました。今後ともなお、一層のご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。(編集委員一同)